

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 13 日

事業所名 なないろHome

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	内装工事を行い、子どもたちが過ごしやすいスペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	見学・面談の方に対応できる人員を確保しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	段差などを無くし、手すりを付けるなどの配慮を行っています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎日申し送りを行い、活動内容の振り返りを行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者の方の意見・要望を取り入れて業務改善していきます。	保護者会を開催して欲しいと希望される方が多いので時期などをしっかり考慮し、保護者会を開催したいと思います。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ブログの記載し、また事業所の相談室にアンケートの集計を配置しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	なないろグループ法人内で徹底して行っています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	毎日の申し送り、定期的に研修を実施しています。年間スケジュールにも照らして頂いています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者の方と送迎時・面談時に話し合い、子ども一人ひとりに合わせた支援計画を作成しております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	会議・申し送りを毎日行い、意見の言いやすい環境作りを心掛けています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	SSTの内容が同じ物にならないように内容を要変更し、ステップアップ出来るようにしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	子どもたちが飽きず楽しめるような活動内容を提供しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	支援計画作成後に保護者の方と面談を行い、支援内容の確認を行っています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	療育開始前に申し送りを行い、情報共有を行い、職員全員で確認しております。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	記録などで確認しながら、問題点がなかったか報告し合い、問題点等あれば早急に解決するように心掛けています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	療育の前後に確認し合える時間を設け、子ども一人ひとりに合わせた療育を行っています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	保護者の方と話し合い、一緒に課題を確認しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	サービス管理責任者が出席するようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校の時間割・行事が分からない場合は、学校のHPや学校に電話して確認するようにしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		今のところ必要な利用者がいない為、対応していませんが一度ご相談ください。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	支援者会議・訪問時に情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	支援者会議等で情報共有を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	コロナ禍ではありますが研修に参加して相互理解に深めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		時間の都合やコロナ禍の影響もあり、出来ておりません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		市が開催して下さっている物には積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時・連絡帳などを活用し、日々の様子をお伝えしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	ご家庭でも出来る支援方法を具体的に提案するようにしています。		
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時や分からない方には個別でご説明させて頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	モニタリング時や要望がありましたら面談を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		コロナ禍の影響もあり開催出来ていなかったので落ち着き次第、開催出来るようにします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	送迎時、連絡帳、電話などを活用し、問題を先延ばししないよう心掛けています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	活動内容を定期的にブログに挙げています。	ブログなどを挙げた際は、保護者の方に連絡をして周知してもらるように改善していきます。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	子ども一人ひとりに合わせた絵カードやスケジュール表を活用して視覚支援を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%		コロナ禍の影響・時間の都合上出来ていないが、可能な限り参加出来るように改善していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	避難訓練などには職員に参加して貰い、各マニュアルに合わせた研修を行っています。	面談等でお伝えするようにし、保護者の方に周知して貰えるように改善していきま
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に避難訓練を行っています。	SNSに挙げているがまだまだ周知して頂けていないのもっと周知して頂けるように改善していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	なないろグループ法人内で定期的に研修を行っています。各事業所で情報共有も行っていきます。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	契約時に保護者の方にご説明させて頂いています。確認後署名・印鑑を頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		医師からの指示書を元に対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット用のファイルを作成しており、申し送り時に確認を行っています。	